

令和元年第7回定例会会議録要旨

◆開催日時 令和元年7月25日（木） 午後3時00分開会

◆開催場所 国富町農村環境改善センター C会議室

◆出席委員 豊田暎光 木下正明 二上由美 海老原千浩 山本憲一

◆欠席委員 な し

◆出席職員（事務局） 大矢雄二 松岡徳 和田浩繁 日高健一郎 中武瞳

◆会議録署名委員指名 木下正明

◆議 案 議案第25号 令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択承認について
議案第26号 平成30年度国富町教育委員会の教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価等について

◆教育長報告要旨（7月1日～7月31日行事実績）

①教育総務課

○7月4日（木）小中学校臨時休業

雨による臨時休業ということでずいぶん迷ったんですが、大雨警報が出ていますし土砂災害等が心配されるなかで、校長先生方に集まっていたいて子供たちの安全が第一という判断のもとで臨時休業となりました。台風より大雨の方が判断に迷った一学期でした。

○7月12日（金）第2回教科用図書採択地区協議会

○7月17日（水）市町村教育委員会連合会総会

教育委員にも出席していただきました。事業計画・決算等の総会が行われた後に講演がありました。日本ペップトーク普及協会の遠坂有太郎氏による「前向きな言葉の大切さ、やる気を出す言葉とは」というようなお話でした。

○7月22日（月）小中学校1学期終業式

②社会教育課

○7月9日（火）町青少年育成懇談会

民生児童委員、町民会議が主催であります。高校の発表、保護司、警察などの報告が行われ、各団体の代表者に集まっていたいて青少年健全育成の取り組み報告等の全体会の後は、今年は中学校のブロックごとに分かれてもっと地域の実態に沿った話し合い

を進めていただいたところです。

○7月25日（木）夏休み子ども学習教室

小学生の子どもたちを対象に、習字と水彩画について夏休みの宿題のお手伝いということの学習教室になります。

○7月29日（月）子育て講演会

今年の講師は水泳のオリンピック選手、松田丈志選手を育てた久世由美子コーチです。「夢を夢で終わらせない競泳人生」というテーマで行われます。婦人会の方々に託児所を開いていただくことで、毎年多くの若い母親にも参加していただいています。

教育長 以上のことで委員さん方、ご質問、ご意見等何かありましたらお願いします。
ペップトークについての感想等ありましたらお願いします。

教育委員 職場で子どもたちに声をかけるときに、つい「走ったらダメよ」と言ってしまいがちなところを「ゆっくり歩こうね」と変えていけるように、小学校の場合では「なんで遅刻したの」と言うと子どもたちは言い訳をする、「どうしたら間に合ったのかな」と言うと子どもたちは改善策を考えるとというような、言葉のかけ方で子どもたちが変わっていくというような内容でした。職員や保護者がやる気になれる魔法の言葉がかけられるように大人は言葉を磨いて下さいと言われたので、是非学校の先生方にも聞いていただきたい内容でした。

教育委員 クリーン国富（河川）についてなんですが、参加された保護者の方から草刈がされてなかったのだから全くゴミ集めができなかったということをお聞きしました。せっかく日曜日に参加したけど、すごくもったいなかったですという意見があがっていましたので、できれば事前に草刈がしてあるといいのかなと思ったのでお伝えしておきます。

教育長 都市建設課が担当となっている行事ですが、毎年その草刈の話が出ています。河川は国交省が管轄となっているのですが、いつも草は刈ってありません。確かに歩くだけになっているようですので、希望を伝えておきます。

◆議事要旨

議案第25号令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択承認について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号で、教科書及びその他の教材については教育委員会の権限で採択することとなっておりますので、令和2年度使用小・中学校用教科用図書の採択について審議をお願いするものです。

宮崎地区採択協議会の採択結果は、別紙のとおりとなります。

【資料に基づき説明】

教育長 市町村ごとにたくさんある教科書全部を研究して、採択まで持っていくにはかなりの労力になりますので、広域採択という形で、宮崎市、国富町、綾町で教科用図書宮

崎地区採択協議会を設けて話し合いをし、その結果を別紙でお渡ししているところです。

教育長 この宮崎地区採択協議会に教育委員代表として参加していただきましたのでどの教科でも全体的にでも何かありましたらお願いします。

教育委員 教科書の全教科について見せていただいて、会社によってこんなに違うのかというのを実感しました。このような機会を与えていただいてよかったです。

どの教科書についても本地域の実態を踏まえて考えるということでしたので、その視点で私達も見させていただきました。教科書会社によってかなり違いますが、どの教科書を見ても絵や写真が子ども目線で見たときにどれだけインパクトを与えて子どもが飛びつくかという感じのものでしたが、英語、図工、家庭科、地図帳については、今回選定した会社のものは、子どもが飛びついてくるだろうなという構成になっていました。

今の時代の教科書選定だと思ったのは、QRコードが付いていることでした。これはポイントになると思いました。

教育長 提案のとおり採択してよろしいか。

教育委員 全員異議なし。

【提案のとおり承認】

議案第26号平成30年度国富町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項により、議会に提出することとなっている報告書の報告です。本委員会の承認後、議会へ報告、その後公表となります。報告書作成にあたっては、学識経験者として元教育長に指導・助言をいただいております。

【平成30年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書を読み上げ報告】

【原案のとおり承認】

◆その他

◇行事予定について 各課行事予定表に基づき説明

◇夏休み補習教室に参加する児童生徒数について

スクールサポーターに集計していただいておりますが、昨年度並みの状況のようですが、今のところ107名だと聞いています。指導者については全部で41名、そのうち本庄高校生は11名ですので、一般の指導者は30名ということになります。

高校生が来て一緒に勉強するというのが魅力的でいいですね。

◇本庄高校の一日体験入学オープンスクールについて

オープンスクールは、高校に行こうと思っている人が資料集めにその高校に行ってみてどんな勉強をするのか、どんな校舎でどんな特別な面白いカリキュラムがあるのかを体験する日で

す。先日の新聞報道のとおり、本庄高校は今度4学級160名という募集定員から3学級120名になりました。今まではオープンスクールに100名くらいしか来ていなかったのですが、今年は170名参加申込があつてすごく評判です。本庄高校魅力化のために中身も変わり、総合学科はそのままですが、2年生から分かれるコースは全く新しくなります。デュアルシステムといって年間を通して企業に行つて授業として認めるといふような、地元の人材で地元に残つてもらふような本庄高校としての取組みも今後やっていきます。なにより一番目立つのは制服が変わることです。すごくモダンになるそうです。校長先生にお聞きしたら、専門のモデルさんに着ていただいて、歩き方も練習した上で制服を披露するそうです。すごく本庄高校が変わりつつあるというのをアピールしています。

今高校によっては全国から募集しながら一日体験入学とかやっているところがありますよね。本庄高校もそういうやり方をしないとイケないのかなと個人的に思っていました。

確かに、今は子どもたちの奪い合いです。生徒が少なくなってくると特に私立高校は経営が成り立たなくなりますから、すごく特色を出して頑張っています。公立学校も魅力をアピールする必要があります。

◇小学校運動会、中学校体育大会について

教育委員の皆さんには、毎年小学校運動会及び中学校体育大会へ参加していただいておりますが、本年度の参加学校を資料のとおり割り振りしております。それぞれのところにお席いただければと思っておりますが、これでよろしいでしょうか。【異議なし 資料のとおり決定】

◇通級指導について

通級指導は、30年度に開設しました。県の設置要件は、13名以上となっておりますが、現在17名程度いるということを担当から聞いております。今、特別な支援が必要な子どもさんが増えてきております。特別支援学級も8名が定員となっておりますが、7～8名の定員ぎりぎりの学校が他にもありますので、そのあたりもしっかり対応できるように県に要望していかないと考えております。通級指導教室は、限られた時間・決められた時間だけ通級するという形になっておりますが、現場の負担がかなり大きいということは聞いております。

エデュニュースで起立性調節障害の記事があり、国富町でも増えてきているのかなと思つたところでした。別件ですが、宮崎市のPTA代表で来られた方から、特別支援関係の保護者から新しい教科書をもらうけれども使わないので、その子達に応じた教科書を考えていただけないかという相談を受けたということをお聞きしました。そういう声はこれから増えてくるのではないかと思ひ、教育委員会としても、こういうことを知っていたほうが良いと思つたところです。

特別支援教育の充実は、どこの方針にも最近強く打ち出されるようになっております。特別支援学級でいうともちろん特別支援学校の肢体不自由や視覚・聴覚障害という子どももいますけど、国富町内では二つの種類があつて、知的と情緒障害の学級に分かれています。知的の子ども達はどういう教科書を使っているのかといえば特別な教育課程を組むので、通常の学級ではない特別支援学級の子ども達が1年前や2年前の教科書で個別にゆっくり勉強を教へていくような教科書の使い方もあります。情緒障害の子ども達は、知的の遅れはないということにな

りますので通常の教科書でやっていけますし、昔のような特殊学級とは違い今は特別支援教育になり、その学級を基盤に置きながらも通常学級で音楽や図工や体育をするというのが普通なので、教科書としてそこだけで使用するというのはこれからもないのかなと思います。この前の会で出たユニバーサルデザインという部分では、皆に優しい心配りのあるような教科書というものがこれから求められるのかなと思います。それと、もう一つの起立性調節障害とは別かもしれませんが、通常不登校とか不登校傾向の子どもが朝学校に行きたがらないという時に聞いてみると、朝起きられないのが怠けたように昔は見られていたが、実は起立性の調節障害だということが最近よく言われています。だから発達障害についても行動面だけで人は非難しがちだけれども、もともと遺伝をするものでもないが脳の障害ということで、それを理解した上で個別に対応していかなければならないというのが最近の流れです。

◇エアコン設置の使用条件等について

とある中学校の生徒が参観日で母親達が来るから今日はエアコンがついたと話していたというのを聞いたので設定条件等はどうなっているのですか。

エアコンを使用できるのは、気温が28度以上になったときからで、設定温度は26度から28度ということにさせていただいております。快適になったという声は当然今聞いていますが、授業外の活動で使いづらいとか、まだ慣れていませんので、こちらの方も子どもの安全対策で緊急的につけたものですから、そのことをわきまえて利用していただくということで学校にも申し伝えております。私達が今後気になるのは、もちろん大事なものは子どもの安全ですが、あとは財政状況が気になるところです。

木脇地区で福祉と防災を地域の人とともに考えるという木脇中学校3年生と地域の人が各学級に入って地区ごとに分かれて協議する会があって、見に行きましたが、教室が涼しいとやはり気持ちがいいです。扇風機も一緒に使っているなので、快適だったと思います。予算的なこともありますが、つけたのだから使うことも大事だと思います。

(閉会午後4時15分)